

(訂正版)

令和 7 年 度

経験者研修の手引 ＜デジタル版＞

- ・ 教職 5 年 経験者 研修
- ・ 中堅教諭等資質向上研修
- ・ ステージアップ研修
- ・ 教職中長期経験者研修

(小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校)

令和 7 年 2 月

山 形 県 教 育 委 員 会

目 次

は じ め に	共通－ 2
令和 7 年度山形県教員研修体系.....	共通－ 3
提出期限一覧（各学校用）	共通－ 4
提出期限一覧（市町村教育委員会及び教育事務所用）	共通－ 5
令和 7 年度「Plant」の申込みから修了までの流れについて.....	共通－ 6
令和 7 年度経験者研修対象者について.....	共通－ 7
教職 5 年経験者研修	1
中堅教諭等資質向上研修	1 7
ステージアップ研修	4 8
教職中長期経験者研修	5 5
各種様式関係.....	5 8

各種様式（記入例を含む）は、山形県教育センターWeb ページより
ダウンロードしてご活用ください。

なお、こちらに掲載している研修の要項及び概要も山形県教育セン
ターWeb ページよりダウンロードできます。



は じ め に

近年、我が国においては、少子化・人口減少、グローバル化の進展、地球規模課題、格差の固定化と再生産など、様々な社会課題が存在する中、Society 5.0 を見据え、これからの社会を展望する上で、教育の果たす役割はますます重要となっています。

令和3年1月26日に取りまとめられた中央教育審議会答申においては、2020年代を通じて実現を目指す学校教育が「令和の日本型学校教育」とされ、その姿が、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」と定義されました。あわせて、教師の理想的な姿として、

- ・環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている
- ・子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている
- ・子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている

であることも示されています。

その後も中央教育審議会において議論が進められ、令和4年12月19日に取りまとめられた答申では、「個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、『主体的・対話的で深い学び』を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにも求められる命題である」と述べられています。教師の学びの姿も、子供たちの学びの相似形であり、「令和の日本型学校教育」を実現するためには、子供たちの学びの転換とともに、教師自身の学び（研修観）を転換することが求められています。

本県では、教育職員免許法及び教育公務員特例法が令和4年5月に改正されたことを受け、令和5年3月に、教員の資質向上に係る「山形県教員『指標』」を改正しました。本県教員が「令和の日本型学校教育」を担う新たな教員の学びの姿を実現するため、高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付ける資質・能力を、改めて明確化したものです。

令和5年4月には、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の手引き」を示すとともに、令和6年4月からは、文部科学省で構築した「研修受講履歴記録システム及び教員研修プラットフォーム」を活用し、主体的に学び続ける教員の育成及び研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の推進を図っています。

また、現在、令和7年度から概ね10年間を期間とした、第7次山形県教育振興計画の検討が進められています。本県教育の目標を「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」と掲げ、「体験」、「探究」、「尊重」、「協働」の4つの重点的取組みにチャレンジしていくこととしています。

経験者研修（5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、中長期経験者研修等）は、本県教員「指標」を踏まえ、教員としてのキャリアステージの中で成長期、充実期、組織運営期に当たる教員を対象に、教職の実践や素養に関する資質・能力の向上を図ることを目的に実施するものです。この冊子は、それぞれの経験者研修に関して、その目的や意義、あるいは実施に関する具体的事項等について詳細に示したものです。本冊子を参考にし、研修が実り多いものとなることを期待します。

令和7年3月

山形県教育センター所長 安 部 康 典

山形県教員研修体系

山形県教員「指標」におけるキャリアステージ							
領域							
始発期 初任～3年目							
成長期 4～10年目							
充実期 11～20年目							
組織運営期 21年目～退職							
生徒指導力							
学習指導力							
特別支援教育力							
ICT活用・情報モラル							
総合的な人間力							
教育公務員としての自覚							
チームマネジメント能力							
危機管理対応能力							
基本研修	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
専門研修	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
校内研修	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
研長修期	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○

初任者研修・新採教員研修

教職2年次フォローアップ研修

教職3年次フォローアップ研修

教職5年経験者研修

中堅教諭等資質向上研修

ステージアップ研修

教職中長期経験者研修

新採校長研修
新採教頭研

サービス規律の理解と総合的な人間力の向上を基盤とした基本研修

特別支援教育研修
▶ 特支学級新任 ▶ 通級指導教室新担当 ▶ 特支学校新任教諭

教科・領域に関する研修
▶ 探究型学習の研究成果を基にした、学習の在り方や授業づくりについて学ぶ研修
▶ 児童生徒の学力向上を目指して、学習指導要領を踏まえた実践的指導力を高める研修

教育課題に関する研修
▶ 学校教育の基盤となる事項、社会の変化に対応した教育活動の実践について学び、今日的な教育課題の解決を図る研修

マネジメントに関する研修
▶ 学級経営やチームリーダーとしての組織運営または校務運営のために必要なマネジメント能力の向上を図る研修

授業研究、職員研修など

▶ 中央研修 ▶ 教職大学院研修
▶ 長期研修（山形大学、県教育センター、国総研等における研修）

注1 ○印は、重点とする領域である。

注2 養護教諭・栄養教諭については、領域内の「生徒指導力」、「学習指導力」を、各職種の専門的な指導力に読み替えるものとする。

注3 職種によっては開講しない講座もある。

注4 校内研修に関し、OJTのサポートのため指導主事の派遣が行われている。

経験者研修 各学校における Plant 申込・承認及び関係書類提出期限一覧

<小学校・中学校・義務教育学校>

提出物	「Plant」	・研修計画書：	・実施報告書：	提出先
研修	・本人による「申込」 ・校長による「承認」	様式(計-学) ・添書： 様式(添-学)	様式(報-学) ・添書： 様式(添-学)	
教職5年 経験者研修	令和7年			市町村立学校： 市町村教育委員会教育長
中堅教諭等 資質向上研修	2月27日(木)	令和7年 6月30日(月)	令和8年 2月2日(月)	
ステージ アップ研修	令和7年 4月24日(木)	令和7年 5月16日(金)		県立学校： 県教育センター 所長
中長期 経験者研修	令和7年 2月27日(木)			

<特別支援学校・高等学校>

提出物	「Plant」	・研修計画書：	・実施報告書：	提出先
研修	・本人による「申込」 ・校長による「承認」	様式(計-学) ・添書： 様式(添-学)	様式(報-学)、 (実施証明書) 写し ・添書： 様式(添-学)	
教職5年 経験者研修	令和7年			山形市立学校： 山形市教育委員会教育長
中堅教諭等 資質向上研修	2月27日(木)	令和7年 6月30日(月)	令和8年 2月2日(月)	
ステージ アップ研修	令和7年 4月24日(木)	令和7年 5月16日(金)		県立学校： 県教育センター 所長
中長期 経験者研修	令和7年 2月27日(木)			

注：1 計画書及び報告書様式「〇-学」…各学校が作成

- 2 送付先 ・市町村立学校…当該市町村教育委員会
 ・県立学校…県教育センター (pei.keiken@yamagataps.jp)
 「経験者研修担当者」宛て (経験者研修共通)

経験者研修 市町村教育委員会及び教育事務所における Plant 承認及び関係書類提出期限一覧

＜市町村教育委員会（山形市を除く）＞ 添書は各教育委員会の様式による

提出物 研修	「Plant」の承認	・「研修計画書」 様式（計-学） （計-委）	・「実施報告書」 様式（報-学） （報-委）	提出先
小中義5年研	令和7年3月7日（金）		様式（報-学） 令和8年2月9日（月）	各教育 事務所長
小中義中堅研		様式（計-学）（計-委） 令和7年7月上旬	様式（報-学）（報-委） 令和8年2月9日（月）	
ステージ アップ研	令和7年5月8日（木）	様式（計-学） 令和7年5月下旬	様式（報-学） 令和8年2月9日（月）	
中長期研	令和7年3月7日（金）			

＜各教育事務所＞ 添書は各教育事務所の様式による

提出物 研修	「Plant」の承認	・「研修計画書」 様式（計-学） （計-委） （計-事）	・「実施報告書」 様式（報-学） （報-委） （報-事）	提出先
小中義5年研	令和7年3月25日（火）	様式（計-事） 令和7年6月4日（水）	様式（報-学）、（報-事） 令和8年2月16日（月）	県教育 センター 所長
小中義中堅研		様式（計-事） 令和7年4月4日（金） 様式（計-学）、（計-委） 令和7年7月11日（金）	様式（報-学）、（報-委）、 （報-事） 令和8年2月16日（月）	
ステージ アップ研		様式（計-学） 令和7年6月4日（水）	様式（報-学） 令和8年2月16日（月）	
中長期研				

＜山形市教育委員会＞ 添書は山形市教育委員会の様式による

提出物 研修	「Plant」の承認	・「研修計画書」 様式（計-学） （計-委） （計-事）	・「実施報告書」 様式（計-学） （報-委） （報-事）	提出先
小中義5年研	令和7年3月25日(火)	様式（計-事） 令和7年6月4日（水）	様式（報-学）、（報-事） 令和8年2月16日（月）	県教育 センター 所長
小中義中堅研		様式（計-事） 令和7年4月4日（金） 様式（計-学）、（計-委） 令和7年7月11日（金）	様式（報-学）、（報-委）、 （報-事） 令和8年2月16日（月）	
ステージ アップ研	令和7年5月15日(木)	様式（計-学） 令和7年6月4日（水）	様式（報-事） 令和8年2月16日（月）	
中長期研	令和7年3月25日(火)			

※ 様式「○-委」…市町村教育委員会が作成

「○-事」…教育事務所・山形市教育委員会が作成

令和7年度「Plant」の申込みから修了までの流れについて

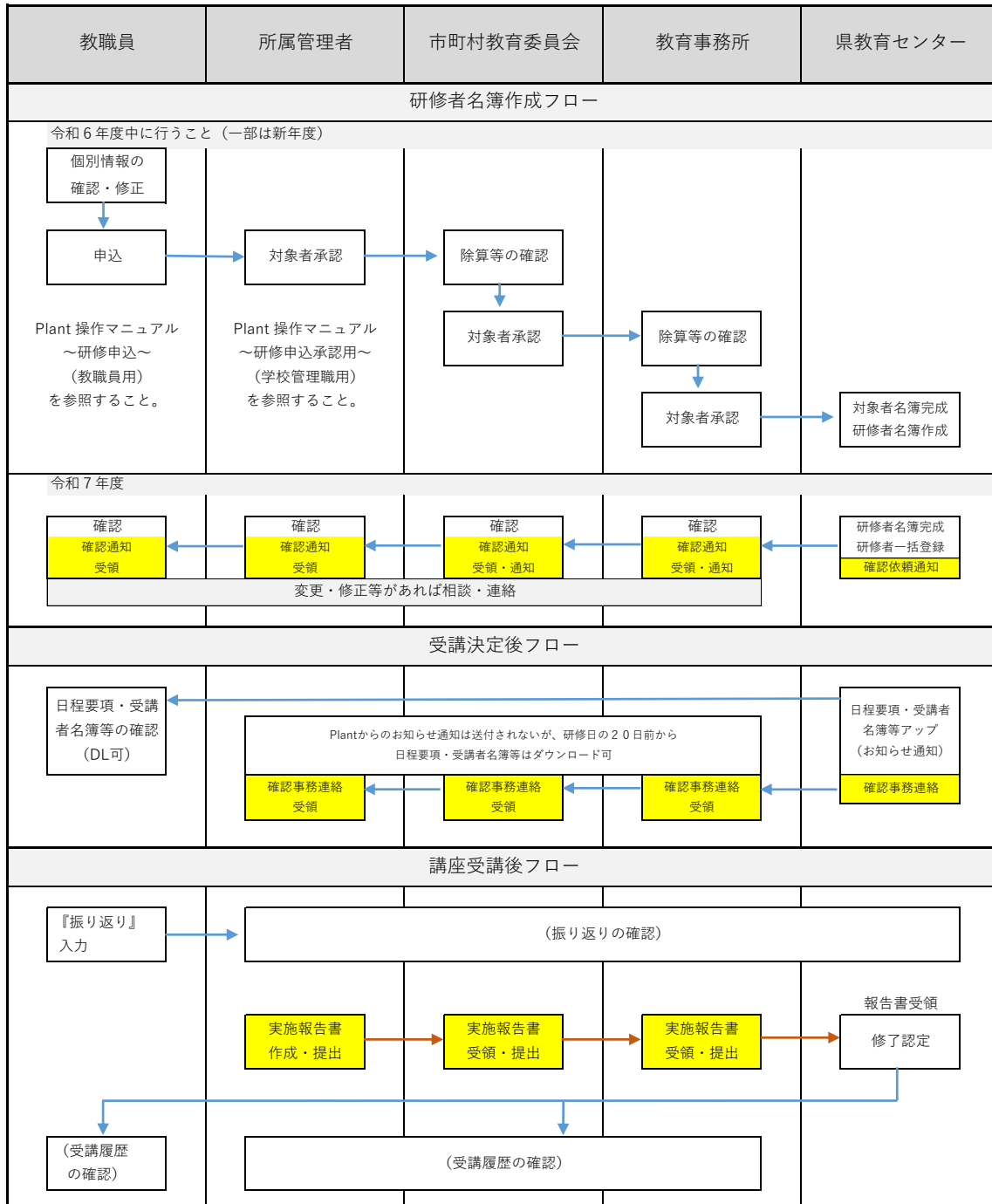
1 基本的な考え方（基本研修）

※教職5年経験者研修・中堅教諭等資質向上研等・ステージアップ研修・教職中長期経験者研修

○各所属の「承認」について

学校管理職等は研修の奨励を含む適切な指導助言を行うことにより、教員の効果的かつ主体的な資質向上・能力開発に資することが必要とされている。また、服務監督権者は教師の資質の向上に向けた支援体制を整えること、任命権者は、効果的・効率的な研修実施体制を整えることが重要とされている。そのため、各所属において「承認」のプロセスを組み込み、所属管理者（学校）・市町村教育委員会・教育事務所のいずれにおいても、教員の参加状況や研修の実施状況などを確認・把握できるようにする。

例 教育センターにおける基本研修の申込み・実施報告・修了までの流れ



※ 県立学校は、上記、市町村教育委員会及び教育事務所欄を除く。

※ 山形市立学校は、上記、教育事務所を除く。

※ 色付き部分は、Plantによらない部分の動き。

※ 日付については、各研修のページを参照すること。

◎ 令和 7 年度経験者研修対象者について（以下に該当する場合、Plant で申し込む）

【5 年研】

- 1 令和 7 年 4 月 1 日現在の教職 5 年経験者研修について、以下の項目のいずれかに該当する者。
 - ① 教諭等の在職期間が 5 年を経過する「令和 2 年度初任者研修受講者」。
 - ② 令和元年度以前に採用され、育休・休職等による除算により令和 7 年度に研修対象となる者。
 - ③ 令和 3 年度以降の採用者の中で、他県経験等を含め、教諭等の在職期間が 5 年を経過し、令和 7 年度に研修対象となる者。
 - ④ 令和 7 年度新規採用者で他県経験等 6～9 年の者。（状況によって免除願提出可）
 - ⑤ 昨年度までの研修対象者で、これまで受講を延期していた者。

※ 研修対象者は、「中堅教諭等資質向上研修」に準じ、概要及び資料 1（p.1）、資料 2（p.21）により特定すること。
- 2 上記④に関し、他県等で、本県の 5 年研に相当する研修を受講済みであるなどの場合は、免除願を提出することができる。提出の際、受講した旨がわかる資料の写しを添付すること。ただし、免除となるかどうかについては、県教育センター所長の判断によるものとする。
- 3 受講を延期する場合には、延期願を提出すること。その際、理由と受講予定年度を明記すること。また、令和 6 年度までに延期願を出しており、令和 7 年度にも延期を継続する場合は、再度延期願を提出すること。

【中堅研】

- 1 令和 7 年 4 月 1 日現在の中堅教諭等資質向上研修について、以下の項目のいずれかに該当する者。
 - ① 教諭等の在職期間が 10 年を経過する「平成 27 年度初任者研修受講者」。
 - ② 平成 26 年度以前に採用され、育休・休職等による除算により令和 7 年度に研修対象となる者。
 - ③ 平成 28 年度以降の採用者の中で、他県経験等を含め、教諭等の在職期間が 10 年を経過し、令和 7 年度に研修対象となる者。
 - ④ 昨年度までの研修対象者で、これまで受講を延期していた者。

※ 研修対象者は、概要及び資料 2（p.21）、資料 3（p.22）により特定すること。
- 2 上記③に関し、他県等で本県の中堅研に相当する研修を受講済みであるなどの場合は、免除願を提出することができる。提出の際、受講した旨がわかる資料の写しを添付すること。ただし、免除となるかどうかについては、県教育センター所長の判断によるものとする。
- 3 受講を延期する場合には、延期願を提出すること。その際、理由と受講予定年度を明記すること。また、令和 6 年度までに延期願を出しており、令和 7 年度にも延期を継続する場合は、再度延期願を提出すること。

【ステージアップ研】

- 1 令和 7 年 4 月 1 日現在のステージアップ研修の研修対象者について、概要第 2 項及び別表（p.48）に該当する者で、令和 7 年度に受講を希望する者。
- 2 ステージアップ研修受講該年度の最終年度（p.48 別表参照）においても受講が難しい場合は、延期願を提出すること。その際、その理由と受講予定年度も明記すること。
- 3 前年度までに延期願を出しており、さらに延期を継続する場合は、再度延期願を提出すること。

【中長期研】

- 1 令和 7 年 4 月 1 日現在の教職中長期経験者研修対象者について、実施要項第 2 項及び別表（p.57）に該当する者。
- 2 実施要項第 2 項（1）の③に該当する場合は、免除願を提出することができる。提出の際、その理由を明記すること。ただし、免除となるかどうかについては、県教育センター所長の判断によるものとする。
- 3 実施要項第 2 項（2）に該当する場合は、延期願（延期願様式）を提出すること。その際、理由と受講予定年度を明記すること。また、令和 6 年度までに延期願を出しており、令和 7 年度にも延期を継続する場合は、再度延期願を提出すること。

令和7年度ステージアップ研修の概要

(小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校)

1 目 的

ステージアップ研修は、中堅教諭等資質向上研修（校外研修Ⅰ・校内研修Ⅰ）を修了した者に対して、現職研修の一環として、個々の教諭等の能力や適性等に応じた研修を実施し、中堅教諭等としての資質向上を図ることを目的とする。

2 対 象

山形県小学校・中学校・義務教育学校中堅教諭等資質向上研修（校外研修Ⅰ・校内研修Ⅰ）、山形県特別支援学校中堅教諭等資質向上研修（校外研修Ⅰ・校内研修Ⅰ）、山形県高等学校中堅教諭等資質向上研修（校外研修Ⅰ・校内研修Ⅰ）のいずれかを修了した、山形県公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の教諭とし、各中堅教諭等資質向上研修（以下「中堅研」という）を修了してから3～5年後のいずれかの年度を選択してステージアップ研修を実施する。研修者の受講対象年度は別表のとおりとする。（養護教諭・栄養教諭は除く。）

※ 受講該当年度である3年間のうちに、事情により当該研修を実施しなかったものも含む。
（養護教諭・栄養教諭は除く。）

別表 ステージアップ研修受講対象年度

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
中堅研受講済			ステージアップ研修受講対象年度				
	中堅研受講済			ステージアップ研修受講対象年度			
		中堅研受講済			ステージアップ研修受講対象年度		

3 内 容 ・ 日 数 等

種別	研修日数	主な研修内容
校外研修Ⅱ	2日	<p>選択研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修者の研修目的に沿って、下記A～Eから校長が認めたものとする。 A 県教育委員会又は市町村教育委員会が主催あるいは共催とする研修会等※ B 県教育センターの研修で、対象として該当する専門研修※ (申込締切日：令和7年5月16日(金)) C 大学や企業等が企画した講義や公開講座等 D 教育課題等の同一テーマに沿って話し合いを行うグループ研修 E その他（NPO等の団体が主催するボランティアや清掃活動を含む） <p>※ 県教育センターWebページに掲載する「令和7年度3年次フォローアップ・ステージアップ研修講座一覧」を参照すること。</p>
校内研修Ⅱ	研修者に応じて設定	<p>研修者や所属校の課題等に応じて、下記の研修を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 服務に関する研修 2 校外における研修の成果還元に関する研修 3 課題研修（下記A、Bの両方又はいずれか） <ul style="list-style-type: none"> A 授業に関する研修 B 教育課題に関する研修

4 年間研修計画

県教育委員会は、年間研修計画を作成し、次のことを定める。

- ① 校外、校内における研修の項目及び日数等
- ② その他必要な事項

5 各学校における研修計画書の作成

研修計画書は、校長の指導及び助言の下、原則として研修者が作成する。その際には、研修の趣旨を踏まえ研修者の課題解決の契機となり得るものを選択すること。

6 実施報告書の作成

実施報告書は、校長の指導及び助言の下、原則として研修者が作成する。

7 校 内 体 制

- (1) 研修者は、校長及び教頭の指導の下、研修計画に従い、研修を行うものとする。
- (2) 校長及び教頭は、研修計画に従い、研修者の課題等に応じて、指導及び助言に当たるものとする。

8 提 出 書 類

校長は、研修計画書及び実施報告書を提出するものとする。（提出先は次の通り）

市町村立小学校・中学校・義務教育学校……当該市町村教育委員会教育長

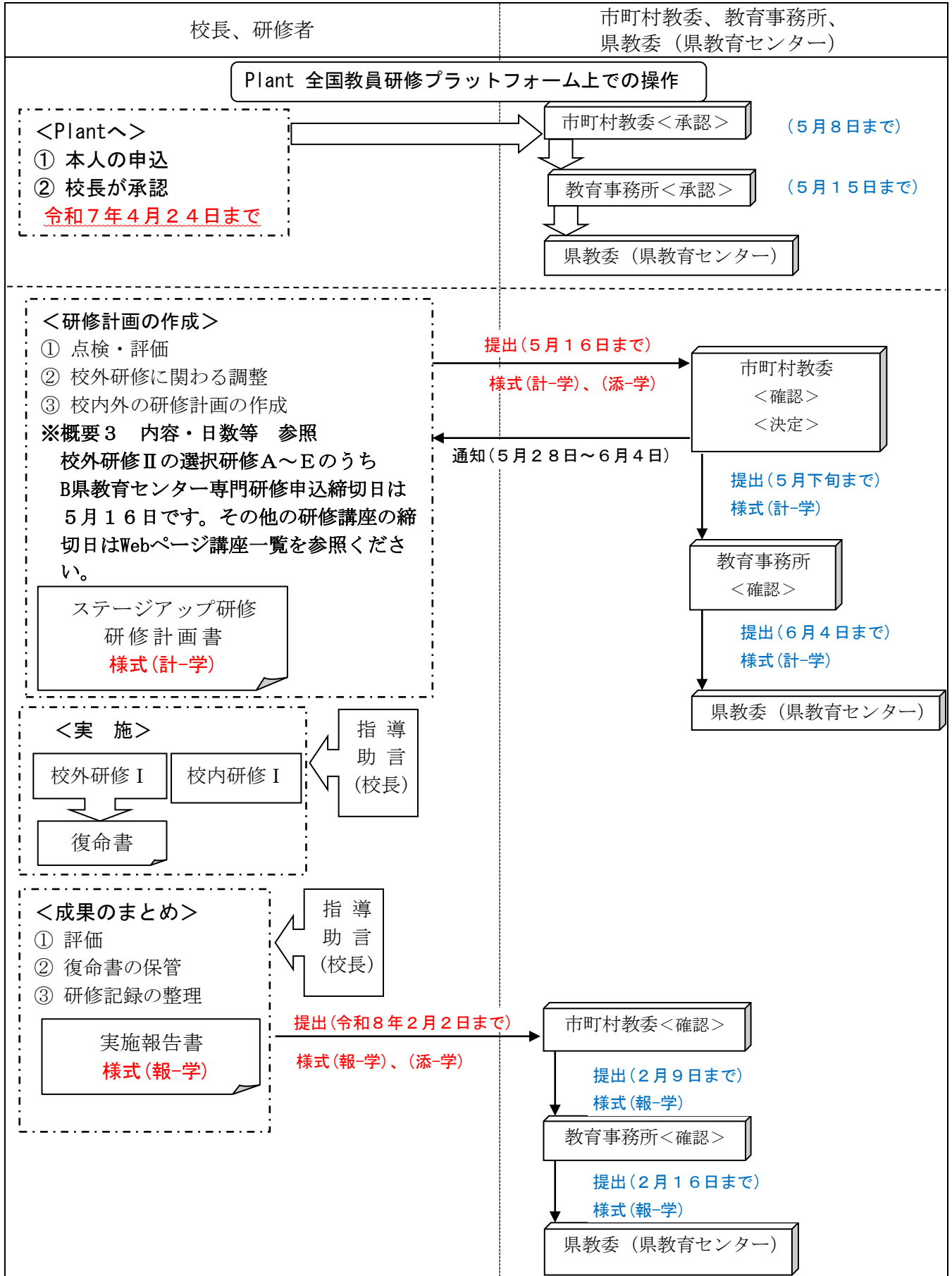
県立中学校………県教育センター所長

※ 書類は、電子データで提出すること。紙媒体で提出する場合は、当該市町村教育委員会の指示による。

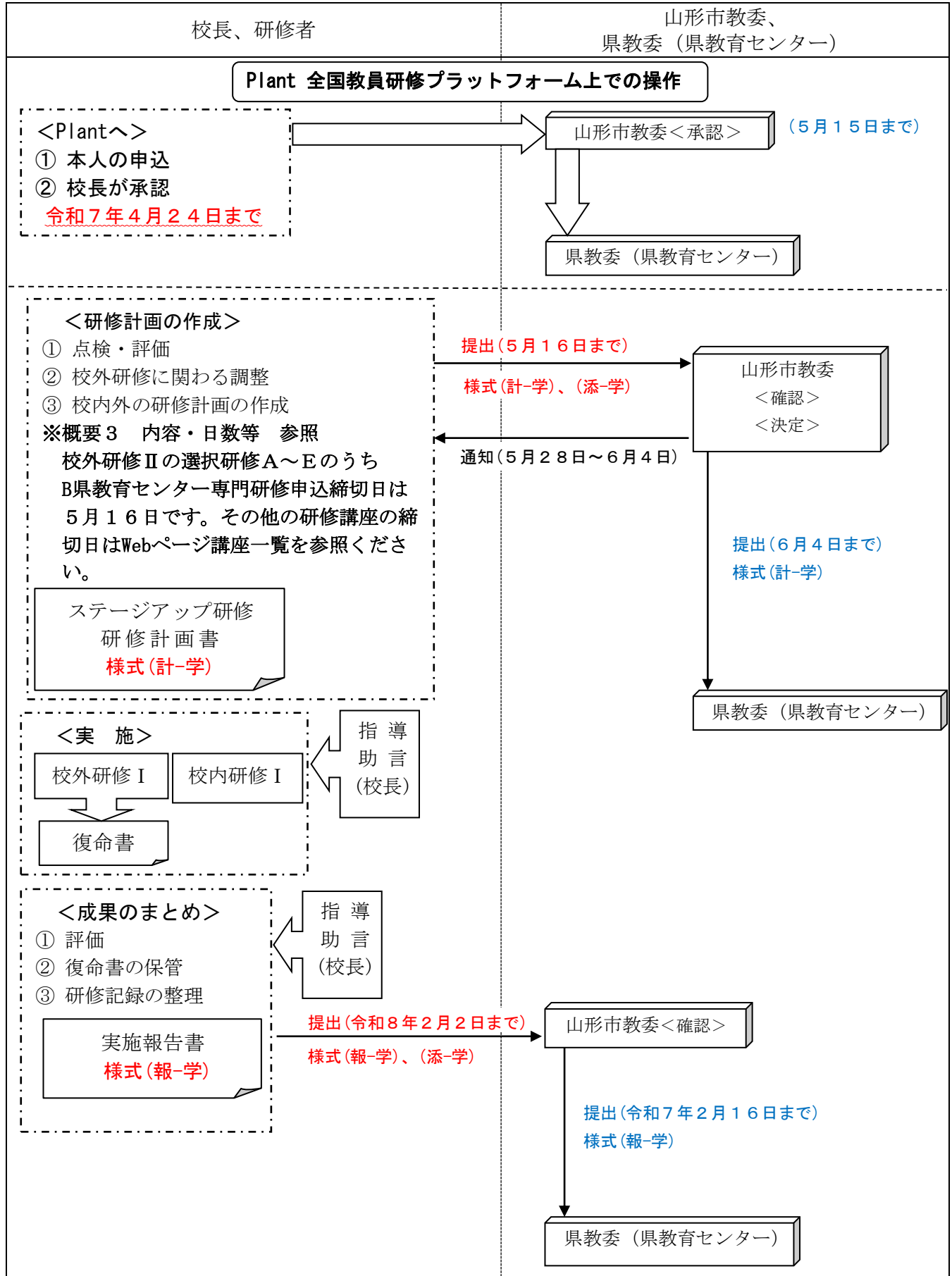
提出書類	様式	提出先	提出期限
研修計画書	様式(計-学) 様式(添-学)	当該市町村教育委員会教育長 又は 県教育センター所長	令和7年5月16日(金)
実施報告書	様式(報-学) 様式(添-学)		令和8年2月 2日(月)

学校の提出は赤、市町村教委、事務所の提出は青で表示

9 ステージアップ研修の実施手順（市町村立小学校・中学校・義務教育学校）※山形市を除く

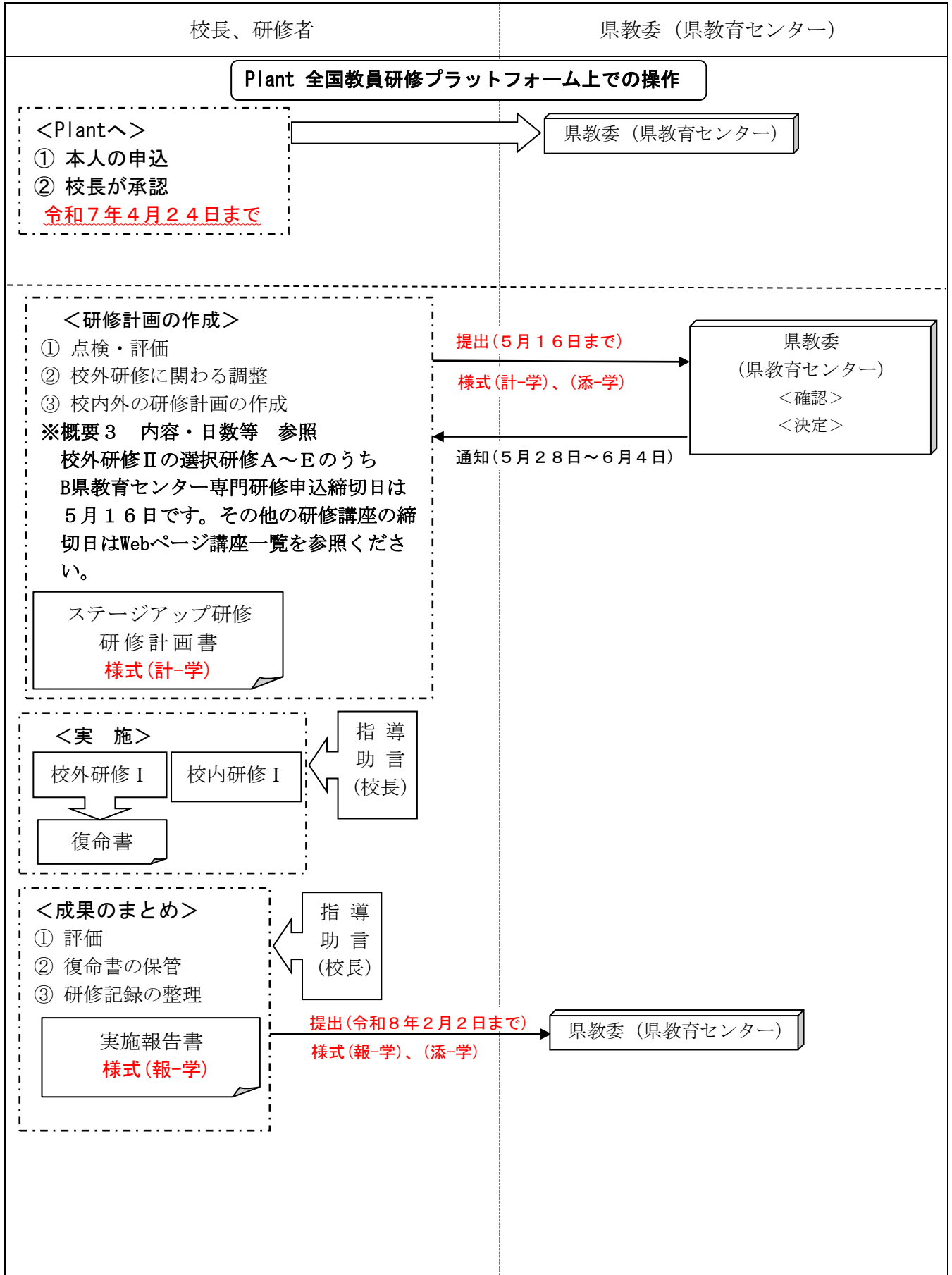


9 ステージアップ研修の実施手順（山形市立小学校・中学校・高等学校）



学校の提出は赤で表示

9 ステージアップ研修の実施手順（県立学校）



年 間 研 修 計 画

1 校外研修Ⅱ（年間2日）

1 選択研修（年間2日）

（1）趣 旨

教育実践上の課題や研修者の中堅教諭等としての資質向上、専門性の研鑽等、自ら設定したテーマについて研修し、課題を協働して解決する力や指導力の充実を図る。

（2）研 修 内 容

研修者の研修目的に沿って、下記A～Eから校長が認めたものとする。

A 県教育委員会又は市町村教育委員会が主催あるいは共催とする研修会等※

B 県教育センターの研修で、対象として該当する専門研修※

（申込締切日：令和7年5月16日）

C 大学や企業等が企画した講義や公開講座等

D 教育課題等の同一テーマに沿って話し合いを行うグループ研修

E その他（NPO等の団体が主催するボランティアや清掃活動を含む）

※ 県教育センターWebページに掲載する「令和7年度3年次フォローアップ・ステージアップ研修講座一覧」を参照すること。

（3）そ の 他

- ① 研修の期日は、5月から翌年1月までを原則とする。
- ② 申し込みの手続き等については、各学校で行うこと。
- ③ 活動範囲は原則として県内とし、旅費の配当替は、県教育委員会が定めた金額を上限とする。

2 校内研修Ⅱ（研修日数は研修者に応じて設定）

1 服務に関する研修

（1）趣 旨

所属校において服務に関する研修を計画、実施し、研修者の服務についての理解を深め、教育公務員としての倫理観の向上を図る。

（2）研 修 内 容

教育公務員としての服務に関する研修を行う。

（3）そ の 他

研修の期日は、5月から翌年1月までを原則とする。

2 校外における研修の成果還元に関する研修

（1）趣 旨

校外における研修で得た成果を、校内報告会等において還元することにより、研修内容に対する研修者の理解を深める。

（2）研 修 内 容

校外における研修で得た成果について理解を深める研修を行う。

（3）そ の 他

研修の期日は、5月から翌年1月までを原則とする。

3 課題研修

(1) 趣 旨

研修者の能力や適性等に応じ、所属校における教育課題及び担当教科や研究教科に関する課題の中からテーマを設定し、中堅教諭等として職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図る。

(2) 研 修 内 容

研修者の能力や適性及び研修者の研修目的等に沿って、下記A、Bの両方又はいずれかについて、校長が認めたものとする。

A 授業に関する研修

研究授業の企画、事前研究会開催、研究授業実施、事後研究会開催、次の改善への課題発見等を行う。

B 教育課題に関する研修

研修者及び所属校に応じた教育課題に関して、解決するテーマを設定し、その解決に向けて他の職員との連携及び協働による取組を行う。

(3) そ の 他

研修の期日は、5月から翌年1月までを原則とする。

様式（計-学）全ステージアップ 研修計画書

名簿番号

令和7年度小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校ステージアップ研修

研 修 計 画 書

学校名

校長名

研修者氏名

I 研 修 計 画

1 校外研修Ⅱ計画

(1) 選択研修【2日】

期 日	会場	参加研修会名等（正式名）
	研修地名	主催・共催機関名等（必須）
令和 年 月 日（ ）		
	市・町・村	
令和 年 月 日（ ）		
	市・町・村	

☐ ※ 県教育センターで開催する研修講座については、5月16日まで申込み手続きを行った後、左枠に☑を入れてから提出する。

2 校内研修Ⅱ計画

(1) 服務に関する研修

期 間	令和〇年〇月～令和〇年〇月
ね ら い	
実施計画	

(2) 校外における研修の成果還元に関する校内研修

期 間	令和〇年〇月～令和〇年〇月
参加研修会名等（正式名）	
ねらい・目的	
校内研修の実施方法	

名簿番号	
------	--

(3) 課題研修

A 授業に関する研修

期 間	令和〇年〇月～令和〇年〇月
テ ー マ	
ねらい・目的	
実施計画	

B 教育課題に関する研修

期 間	令和〇年〇月～令和〇年〇月
テ ー マ	
ねらい・目的	
実施計画	

注：欄が小さい場合には、欄の高さやページ数を増やしてもよい。また、表を増やしてもよい。

様式（報-学）全ステージアップ研 実施報告書

名簿番号

令和7年度小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校ステージアップ研修

実 施 報 告 書

学校名

校長名

研修者氏名

I 実 施 報 告

1 校外研修Ⅱ実施報告

（1） 選択研修 【2日】

期 日	会場	参加研修会名等（正式名）
	研修地名	主催・共催機関名等（必須）
令和 年 月 日（ ）		
	市・町・村	
令和 年 月 日（ ）		
	市・町・村	

2 校内研修Ⅱ実施報告

（1） 服務に関する研修

期 間	令和○年○月○日～令和○年○月○日のうち ○ 日間
ね ら い	
研修内容	
研修の 成果と課題	

（2） 校外における研修の成果還元に関する校内研修

期 間	令和○年○月○日～令和○年○月○日のうち ○ 日間
参加研修会名 等（正式名）	
ねらい・目的	
校内研修の 実 施 方 法	
研修の 成果と課題	

名簿番号	
------	--

(3) 課題研修

A 授業に関する研修

期 間	令和○年○月○日～令和○年○月○日のうち ○ 日間
設定した テ ー マ	
ねらい・目的	
研修内容	
研修の 成果と課題	

B 教育課題に関する研修

期 間	令和○年○月○日～令和○年○月○日のうち ○ 日間
設定した テ ー マ	
ねらい・目的	
研修内容	
研修の 成果と課題	

注：欄が小さい場合には、欄の高さやページ数を増やしてもよい。また、表も増やしてもよい。

II 研修を振り返って

記 号 番 号

令和○年○月○○日

県教育センター所長 殿

県立○○○学校長

令和○年度山形県公立学校経験者研修の研修計画書の提出について（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和○年度 中堅教諭等資質向上研修 研修計画書 （研修者 2 名）

令和○年度 ステージアップ研修 研修計画書 （研修者 1 名）

- ・ 中堅研 2 名、ステージアップ研 1 名の研修計画書提出時の例。
- ・ 研修名は該当の研修名のみ記載する。

経験者研修共通送付先アドレス：pei.keiken@yamagataps.jp

「経験者研修担当者」宛て

記 号 番 号

令和○年○月○○日

山形市教育委員会教育長 殿

山形市立○○○学校長

令和○年度山形県公立学校経験者研修の研修計画書の提出について（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和○年度 中堅教諭等資質向上研修 研修計画書 （研修者 1 名）

令和○年度 ステージアップ研修 研修計画書 （研修者 1 名）

- ・ 中堅研 1 名、ステージアップ研 1 名の
研修計画書提出時の例。
- ・ 研修名は該当の研修名のみ記載する。

「記号番号」 不要

令和○年○月○日

○○○教育委員会教育長 殿

○○○立○○○学校長

令和○年度山形県公立学校経験者研修の**実施報告書**の提出について（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和○年度 教職5年経験者研修 **実施報告書** （研修者2名）

令和○年度 中堅教諭等資質向上研修 **実施報告書** （研修者2名）

令和○年度 ステージアップ研修 **実施報告書** （研修者1名）

令和○年度 中長期研修 **実施報告書** （研修者2名）

- ・ 5年研2名、中堅研2名、ステージアップ研1名、中長期研2名の**実施報告書**提出時の例。
- ・ 研修名は該当の研修名のみ記載する。

様式（添-学） 添書様式-経験者研修各学校共通

記 号 番 号

令和○年○月○日

○○○○○○長 殿

○○立○○○学校長

令和○年度 山形県公立学校経験者研修○○○○書の提出について（提出）

このことについて、下記のとおり提出します。

記

令和○年度 ○○○○○○研修 ○○○○書 （研修者○名）

記 号 番 号
令和〇年〇月〇〇日

県教育センター所長 殿

学校名 _____

校長名 _____

延 期 願

下記の通り研修講座の受講延期を願います。

記

- 1 研修講座名 令和〇年度山形県〇〇〇〇学校〇〇〇〇研修
- 2 受講者 職・氏名
- 3 理由
- 4 受講予定年度
- 5 その他